

## 会議議事摘録

会議名	2022年度第1回学校関係者評価委員会
開催日時	2022年7月18日(月曜日)10:00~12:00
場所	本校7階 研修室
出席者 (敬称略)	①委員：赤塚敦子(看護関連業界関係者)、石川幹夫(卒業生)、伊藤由紀(高等学校関係者)、篠塚 功(医療事務関連業界関係者)、藤井寿和(福祉関連業界関係者) (計5名) ②学校：橋本正樹(校長)、榊原幸之(事務局長)、村山由美(医療秘書科学科長・医療事務科学科長)、深澤由紀子(医療秘書科副学科長、医療事務科副学科長)、川畑亮子(医療事務IT科学科長・診療情報管理科学科長、診療情報管理専攻科学科長)、結城久美子(くすり・調剤事務科学科長)、渋谷大樹(くすり・調剤事務科教員、教務委員長)、松田朗(介護福祉科学科長)、伊東由美(看護科学科長) (計9名) ③委員会事務局：土屋瑠美子、土方雄太(計2名)  (参加者合計16名)
欠席者 (敬称略)	川井佳樹(くすり関連業界関係者)、小林麻依子(保護者)
配付資料	①事前送付： □資料1：2022年度学校関係者評価委員会名簿、□資料2：2021年度第3回学校関係者評価委員会議事録案、資料3：2021年度第3回委員会以降の主な経過報告 別添A：2022年度校務分掌・組織図、別添B：2022年度学事日程・オープンキャンパス日程、別添C：2022年度クラス担任一覧、別添D：2021年度進路決定状況・求人件数、別添E：2022年度教員研修計画・実績、別添F：2021年度授業公開実施報告書、別添G：2022年度授業公開実施要領、別添H：2022年度前期授業アンケートの実施計画、別添I：2022年度教育課程編成委員会 資料4：2021年度活動の自己評価報告書点検大項目、資料5：2021年度学校関係者評価報告書に示された意見・課題への取り組み、資料6：2022年度の重点目標と達成するための計画・方法 ②当日配付・閲覧資料 学生生活ガイド(看護科以外、看護科)、2022年度講義要項(全学科)、Challenge 就職活動ノート、2023年度入学案内書、2023年度募集要項(看護科以外、看護科) ③当日回覧資料 2021年度活動の自己点検・自己評価報告書(点検中項目)、各種検定・資格取得率
議題等	1. 今年度委員及び新任者(委員、本校)の紹介 事務局より、資料1に基づき、今年度の委員及び本校教職員の新任者について紹介があった。  2. 校長挨拶 新型コロナウイルスの感染拡大については、第7波により引き続き予断を許さない状況が続いている一方で、様々な場面で日常生活を取り戻そうとする社会的な動きも出てきた。 本校としては、適宜オンライン授業を組み込める教育体制を整える一方で、感染防止対策、熱中症予防にも配慮しつつ、対面授業を実施している。 各学科の実習については、一部お引受けいただけないケースもあるが、徐々に状況は好転しつつあり、学生数の多い医療事務分野の学科でも実習希望者全員分の実習先を確保できた。 学生及び卒業生には、引き続き感染防止の正しい知識を持った上で、実習の現場や職場において自信を持って行動してほしい。 学校関係者評価委員会は年3回の開催を予定している。今後も判断の難しい教育上の問題が様々な発生すると思うが、委員の皆様には引き続き学校のサポーターとしての貴重なご意見をいただきたい、との挨拶が行われた。

3. 2021年度第3回委員会議事録について

事務局より、事前に配付した前回議事録案（資料2）について修正等の意見を求めたところ、特段の意見がなく、原案のとおり承認された。

4. 2021年度第3回委員会以降の主な経過について

校長、事務局長、教務委員長、委員会事務局より、資料3（別添A～Hを含む）に基づき報告し、確認、了承された。補足の概要、委員からの質問・意見及びその回答は別紙のとおり。

5. 2021年度活動の自己評価報告書（点検大項目）について

資料4に基づき、基準の大項目ごとに質問・意見を徴し、確認、了承された。委員からの質問・意見及びその回答は別紙のとおり。

6. 2021年度学校関係者評価報告書に示された意見・課題への取り組みについて

資料5に基づき、基準の大項目ごとに担当者から追加コメント、委員から質問・意見を徴し、確認、了承された。委員からの質問・意見及びその回答は別紙のとおり。

7. 2022年度の重点目標と達成するための計画・方法について

資料6に基づき、橋本校長より補足説明があった後、確認、了承された。

8. 意見交換など

詳細は別紙のとおり。

9. 次回日程、その他

事務局より、次回は11月または12月を予定し、事前にEメールで日程調整をさせていただきたいとの説明があり、了承された。

以上

## 2022 年度第 1 回学校関係者評価委員会の主な討議内容

### 次第 4. 2021 年度第 3 回委員会以降の主な経過について（資料 3 参照）

○橋本校長、榊原事務局長、渋谷教務委員長、事務局土屋より、資料 3（別添 A～H を含む）に基づき以下の報告が行われた。

#### 1. 組織運営関連

##### (1) 2022 年度校務分掌（別添 A）（説明者：橋本校長）

- ・企画室を経営企画室に変更し、留学生教育拡大協議会（目的：専門課程以外の教育の強化）と医療事務実習・就職関連情報整備部会（目的：情報の一元化）を設置した。
- ・医療事務分野の学科を再編し、1 年制の医療事務科を設立した。
- ・医療マネジメント科を医療事務 I T 科に名称変更し、診療情報管理科を 3 年制の学科とした。

##### (2) 2022 年度学事日程・オープンキャンパス日程（別添 B）（説明者：榊原事務局長）

- ・入学式を 4 月 7 日に実施した。（参加者は学生のみ）
- ・5 月 31 日に地震を想定した避難訓練を実施した。
- ・8 月 2 日に医療秘書科開設 50 周年記念式典を開催する。
- ・学園祭は期間を 1 日間、対象を学内の者に限定して 11 月に実施する。
- ・卒業式は 3 月 15 日に行う。卒業記念パーティーは中止の見込みで進んでいる。
- ・オープンキャンパスは、50 日間の開催を予定している。

#### 2. 学生の状況関連（説明者：榊原事務局長）

##### (1) 入学の状況（別添 C）

##### (2) 2021 年度退学の状況

##### (3) 2021 年度就職活動の状況（別添 D）

- ・就職率 99.6%。うち正職員就職率 93.1%。
- ・医師事務の求人が増加。就職先は国公立系、大学病院が多かった。

#### 3. 教務委員会関連（説明者：渋谷教務委員長）

##### (1) 2022 年度教員研修計画・実績（別添 E）

- ・前年同時期に比べて若干増加している。

##### (2) 授業公開（別添 F、G）

- ・前年度は通年で授業公開を行ったところ、参観しやすくなったとの声が聞かれている。
- ・参観科目数目標をほぼ達成した。
- ・兼任教員参観数は参観しやすい形に変更した。

#### 4. 授業アンケート関連（説明者：事務局土屋）

##### (1) 2022 年度前期実施計画（別添 H）

- ・6 月 6 日（月）から 17 日（金）までの 2 週間、ウェブで実施し、7 月 1 日以降、集計結果が見られるようになっている。

#### 5. 自己点検・自己評価関連（説明者：事務局土屋）

#### 6. 職業実践専門課程関連（説明者：事務局土屋）

○委員からの質問・意見と回答は次のとおり。

委員からの質問・意見	質問・意見への回答
<input type="checkbox"/> 入学式、卒業式は、学校の方針や考え方を知るよい機会になる。今は保護者は参加できないようだが、ウェブ上で見ることはできるのか。	<input type="checkbox"/> オンデマンド配信で見ることができる。
<input type="checkbox"/> 看護科で戴帽式に似た式典は行われているか。	<input type="checkbox"/> 行っている。対象学年とその保護者は生配信を見ることができるが、在校生はクラスで録画を見られる形にしている。
<input type="checkbox"/> コロナ禍にもかかわらず就職率が上がっているのは、日頃の先生方、スタッフの指導のたまものだと思う。	

#### 次第5. 2021年度活動の自己評価報告書（点検大項目）について（資料4参照）

○委員からの質問・意見と回答は次のとおり。

委員からの質問・意見	質問・意見への回答
<input type="checkbox"/> 看護科は今年度から新カリキュラムに変わっていると思うが、学校独自で工夫された点はあるか。	<input type="checkbox"/> 看護科も「キャリアデザイン」の科目を設けた。他学科との共同授業を工夫していきたい。 今回、「地域在宅看護論」という科目ができたので、実習のスタートを病院ではなく、豊島区内の地域包括支援センターで行う予定にしている。
<input type="checkbox"/> 他の学科があるところの強みを発揮すれば、学生募集でもアピールできると思う。	
<input type="checkbox"/> 教員の資質向上の取組で、授業アンケートの評価と改善の仕組みを検討しているということだが、具体的にはどのようなことか。	<input type="checkbox"/> 授業アンケートの結果は、目標面接時のアドバイスや日々の指導に生かしているが、人事考課に反映させるかどうかは課題だと思っている。
<input type="checkbox"/> 本人と上司が認識を共有して、きちんと指導できていればそれでいいと思う。人事考課にはつなげないほうがよい。	<input type="checkbox"/> 人によっていろいろな見方があるので、即人事考課につなげることはできない。今は授業の進め方の参考にするという意味合いでやっている。
<input type="checkbox"/> 授業アンケートも授業公開も取り組みの主旨が正しく伝わるように配慮してほしい。	<input type="checkbox"/> アンケートについては、自分の評価を受けたコメントシートを提出してもらい、それを基にコミュニケーションを取っている。
<input type="checkbox"/> 卒業生の社会的評価は、リーダー的な存在として活躍している人材が出ているかどうか大きい。実際に多くの病院で活躍している卒業生がいると思う。そういう情報を把握していく必要がある。	<input type="checkbox"/> 経営企画室で卒業生の情報のデータベース化を早急に図りたい。 長く活躍し、高い評価を得ている人だけでなく、本校はきちんとした職業人、いわゆる納税者を地道に育てていることも社会に示していきたい。
<input type="checkbox"/> 留学生の意見や思いを吸い上げる機会はある	<input type="checkbox"/> 本年度から留学生サロンを設けて、週に1回、

<p>のか。</p> <p><input type="checkbox"/> 学生相談コーナーの利用状況を教えてほしい。</p> <p><input type="checkbox"/> 最近、大学や専門学校で企業や地域とのコラボ授業を実施し、モチベーションの向上につなげている。そういう活動はしているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 講義は一方通行になりやすい。企業が行う地域でのイベントの企画を学生と一緒に考えるなど、主体的になれる授業が入ってくると、より社会に必要とされる人材になっていくと思う。学生とコラボしたい企業や地域は結構ある。本校に声をかけさせていただくことはできるか。</p> <p><input type="checkbox"/> 学生の募集に関しては、いろいろな形で情報提供ができるとよいと思う。</p>	<p>懇談できる場所と時間を確保した。言葉の問題は大きい。日頃の授業がどの程度理解できているか確認しながら進めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 昨年度はオンライン授業もあり、利用率が落ちた。今年度は、医療事務系を対象に、相談コーナーの紹介を兼ねた授業を行った。気軽に話に来てほしいというスタンスでやっている。利用率はかなり上がっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 学生にとっては発見が多いことなので、コロナが落ちついたらやっていきたい。留学生を通して社会を知るなど、外に目を開いていく機会を増やそう考えていきたい。</p> <p><input type="checkbox"/> ドラッグストアや漢方のメーカーなど、様々な企業に講演をしてもらい、オムニバスの授業を構成している。</p> <p><input type="checkbox"/> ぜひお願いしたい。</p> <p><input type="checkbox"/> ご意見として承った。</p>
--	---

次第6. 2021年度学校関係者評価報告書に示された意見・課題への取り組みについて（資料5参照）

○委員からの質問・意見と回答は次のとおり。

委員からの質問・意見	質問・意見への回答
<p><input type="checkbox"/> 先生方の在宅勤務はどの程度進められているのか。</p> <p><input type="checkbox"/> オンライン授業を兼任講師の授業公開に結びつけられるとよいと思う。</p>	<p><input type="checkbox"/> 在宅勤務は教員だけが対象で、自宅のほうが効果的に仕事ができるという前提があれば認める形に改めた。オンライン授業も学校の中から配信することを基本としている。</p> <p><input type="checkbox"/> ご意見として承った。</p>

次第7. 2022年度の重点目標と達成するための計画・方法について（資料6参照）

○橋本校長より、今年度の重点目標と、その達成のための計画・方法について以下のとおり報告があった。

①TPCの育成と強化

・継続してオンライン授業を活用して進めていきたい。

②新たな入学者層を対象とする教育プログラムと学びのサポートプログラムの開発

・経営企画室を中心に新たな社会人向けの企画を考えている。従来の高校新卒以外の対象の教育を拡大・強化していきたい。

③入学者定員の充足

・学科の再編を経て、ゆっくりと上昇カーブを描けそうな見込みが出てきた。間口を広げつつ学生確保に努めていきたい。

次第8. 意見交換など

委員からの質問・意見	質問・意見への回答
<p><input type="checkbox"/> 東京都は病床確保レベルを引き上げたので、当院では看護師の配置体制も切り替えた。実習についてはなるべく受け入れるようにしている</p> <p><input type="checkbox"/> 介護・福祉の分野では異業種からの参入が顕著になっている。LIFEが始まったが、現場で使い切れていない。ICTを理解し、オンラインができる学生は即戦力になる。授業で取り入れていただいていることをうれしく感じた。</p>	

以上